

# 春風を待つ

麻田春庵

料峭<sup>りょうしやう</sup>はコロナのように我を切る

冴え返りデイスタービスも冴え返る

今の世は修羅の如く春<sup>はる</sup>霰<sup>みぞれ</sup>

陽炎の中に入りて我ひとり

公園はうら麗しく辛<sup>こ</sup>夷<sup>ぶ</sup>咲く

春うららコロナ禍の薄情け

逃水を追うてコロナの儚さよ

密をさけ北窓開く二人して